

地域
再
発見

Part 1



風の丘公園での虫のえさ放流

有屋地域は、霊峰神室山の麓、金山川の上流に位置し、稲沢、宮、下向、柳原、入有屋の5つの地区があります。地域の運営は、5つの地区の役員で構成する有屋地区区長公民館長連絡協議会（有屋地区区公連）会長は三上一雄（柳原区長）において、各地区の連絡や調整を図りながら行われています。

昭和62年に金山町ではじめて策定した地域振興計画を、平成12年に改定し、住民と行政の役割を改めて明確にした上で、「地域を見つめ直しふるさとの良さを再発見し手がけていこう」を計画の中心にしています。

ここ数年、地域公民大会の地域

テーマとし、その実現のために、活発に議論してきています。特に、地域の魅力は何なのかをたずね、それらを軸にした活動になっている「地域の宝物さがし」が話題となっています。

平成18年9月に、山形大学人文学部地域連携講座が開催され、大学生から見た有屋の魅力に関する意見交換会や地域の歴史を学ぶ講座に大勢の人が集まりました。有屋は奈良時代、街道の駅であったことや、神室山岳信仰が大きな勢力を持っていたことが紹介され、地域の人たちは自分の住んでいる地域に大きな自信を持つことにつな

がっています。これが元になり、有屋小学校では地域の良さを調べる「地域学習」が行われ、子どもたちの地域への興味や関心がいつそう深められました。

地域には、神室山、竜馬山、有屋番楽グリーンバレー神室などたくさんの魅力がありますが、新しい魅力として、最近取り組みはじめられたことがあります。1つめは、伝説となっている入有屋集落の裏山から登って秋田に通ずる古道を探す、「有屋峠物語」を通して、秋田県との交流を模索する活動です。2つめは、金山川の源流域の「虫」を

元気広げる有屋地区区公連

魅力として
調べ、生息
調査や川に
隣接する風

の丘公園で生育活動をしながら、鑑賞活動を企画していくこと。3つめとして、地産地消や地域に伝わる食文化の伝承・普及を図るため、シェーネスハイム金山と協力しながら「有屋ぐるめ弁当」を企画開発しています。

これらの活動はどれも、地域に住む人たちの手で気軽にできる活動です。地域のいろんな魅力を、地域の1人でも多くの人に知ってもらい、行動していくことが、「住んでよかった・住みたい地域づくり」につながると、今日も活動している有屋地区区公連です。

有屋峠の古道さがし

有屋小学校の
地域学習発表会

全町31の行政区（地区）がある金山町は、小学校の学区や歴史的な文化・生活圏などにより5つに分けられ、それらの各圏域は「地域」と呼ばれる、「自治組織」として、それぞれが、地域住民の主体性により、独自の地域づくりを進めています。

暮らしの基盤である地域は、そこに住む私たちみんなが、お互いに話し合い、力を合わせるのが基本。

「住んで良かったと実感できる地域づくり」をがんばっている、地域のみなさんの取り組み、「地域の元気」をシリーズで紹介していきます。

（次回は中田地域の予定です。）